



## ～和風月名～の意味と由来

8月は和風月名で『葉月』とも呼ばれます。和風月名とは旧暦での月の呼び名で、旧暦の季節や行事に合わせて作られたものです。現在の暦でも使用されることがありますが、それぞれの月の意味と由来をご紹介します。

### 旧暦

- ・月の満ち欠けをもとに、季節をあらわす太陽の動きを加味して作られた「太陰太陽暦」
- ・月が新月になる日を月の始まりと考え、各月の1日としていた。
- ・新月から新月までは平均して約 29.5 日の間隔で 12 ヶ月間では約 354 日。太陽暦の 1 年より約 11 日短いため、暦と季節のずれがひと月分に近くなると、「閏(うるう)月」というものを入れて、ずれを修正していた。

### 旧暦と新暦

### 新暦

- ・太陽の動きをもとにした太陽暦（グレゴリオ暦）で、1 年が 365 日。
- ・地球が太陽の周りをまわる周期をもとに作られているので、正確には 365.24219 日であり、毎年 6 時間のずれが生じる。このずれは 4 年で 24 時間＝1 日分のずれが発生しているので、4 年に 1 度「閏年」を設け、2 月 29 日を用意することでずれを修正している。

旧暦は日本の気候風土や農事中心の生活と相性が良く、6 世紀（500～600 年頃）から使われていましたが、明治維新（1868 年）によって樹立された明治政府が西洋の制度を導入して近代化を進める中で、暦についても欧米との統一をはかり、明治 5 年（1872 年）11 月、太陽暦（グレゴリオ暦）への改暦を発表しました。これによって明治 6 年（1873 年）から太陰太陽暦に替わり現在使われている太陽暦が採用されました。

## 和風月名

和風月名の起源は古く、日本最古の書籍といわれる「日本書紀」では、すでに 4 月に「うげつ」、2 月に「きさらぎ」という読み方が使われていたそうです。

- |  |   |
|--|---|
| 1月 睦月 正月に親類一同が集まる、睦び（親しくする）の月。           | 7月 文月 稲の穂が実る月（穂含月：ほふみづき）。                   |
| 2月 如月 衣更着（きさらぎ）とも言う。まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する月。 | 8月 葉月 木々の葉落ち月（はおちづき）。                       |
| 3月 弥生 木草弥生い茂る（草木が生い茂る）月。                 | 9月 長月 夜長月（よながづき）。                           |
| 4月 卯月 卯の花の月。                             | 10月 神無月 神の月の意味。全国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になる月。 |
| 5月 皐月 早月とも言う。早苗を植える月。                    | 11月 霜月 霜の降る月。                               |
| 6月 水無月 水の月で、田に水を引く月。<br>※「無」は「の」を意味する。   | 12月 師走 師匠といえども趨走（すうそう、走り回る）する月。             |